



新商品をPRする商品  
開発女子部のメンバー

## 彩り豊か ひし形モチーフの新商品

ハ  
戸

八戸圏域DMO・VISITはちのへの商品開発女子部(愛称・はちのへポケット)はちpoke)が開発を進めてきたスイーツのお披露目が3月25日、八戸市のユートリーで行われた。商品名は「南部菱刺し琥珀糖 八戸きらり」。県南地方の伝統工芸品「南部菱刺し」のひし形をモチーフにした和菓子で、材料に圏域産の果汁などを使用している。彩り豊かで独特の食感が楽しめる新商品は、5月販売開始の予定。

「八戸きらり」は12粒入り。菱刺し模様があしらわれた白い箱に、八助梅、八戸ワイン、ニンジン、リンゴ、桑茶、「黒ごぼう+黒豆茶」の6つの味が2粒ずつ入っている。外側がシャリッ、中は

# 南部菱刺し和菓子になった

## はちpoke、「八戸きらり」来月発売



VISITはちのへの商品開発女子部が開発した「南部菱刺し琥珀糖 八戸きらり」

プルッとした食感で、そのまま食べるだけでなく炭酸水やカクテル

に入れて味わうこともできる。

はちpokeメンバーは県内外在住の社会人6人、八戸学院大生5人の計11人の女性で構成。昨年8月から、流行に敏感な「大人女子」をターゲットに、会員制交流サイト(SNS)映える圏域ならではの土産品開発に取り組んできた。八戸市の和菓子店「萬榮堂」の松田智司代表と「港むら福」の船場修社長が試作段階から協力し、首都圏在住女性を対象としたモニター調査などを経て商品化した。

お披露目会に出席したはちpokeメンバーは「若い世代に手に取ってほしい。1粒食べて幸せを感じてもらえたら」「SNSで多くの人に見てもらい、八戸のことを知るきっかけとなる商品になってほしい」などと、商品をPRした。価格は1200円。ユートリー、萬榮堂、港むら福で販売するほか、ネット通販も行う。

(千葉真由美)